

【S2000】

(公財)日本ハンドボール協会

新公式記録用紙対応 スコアシートP C入力の手引き

このたび、公式記録用紙の変更に伴い、山口県ハンドボール協会では、PC スコア入力を前提とした Excel ファイルを作成しました。以下に入力の手引きをしますが、氏名等のデータは、別ファイルの申込様式(S2001team)をしています。このシステムには保護がかかっています。なお、システムについてのお問い合わせは、山口県ハンドボール協会(ygh2015@yamag-hba.sakura.ne.jp)までお願いします。

この手引きの適用システムファイル名は、S2101(男子)、S2201(女子)、S2001team(申込様式)です。

1 「input」シート【外付けのテンキーがあると便利です】

(1) スコア入力シートは「input」シートです。

◎入力の基本順序は、①チーム(A or B)→②背番号→③結果(7mTC、警告等)→④時間(4桁)

◎さらに④で入力した相手チームにも警告・退場等があれば、⑤背番号→⑥結果(7mTC、警告等)

→レフリーのタイミングと順番で入力してください。

例 1) A 7 が退場・レフリータイムアウト(00分50秒)、B 2 による7mスローで再開、成功(得点)

例 2) B に7mスロー、レフリータイムアウト(〇〇分〇〇秒)、A 7 が退場、B 2 による7mスローで再開、成功(得点)

そのときの展開にあわせて、チームをA・Bどちらにしても入力できます。

7	列	チーム	背番	結果	時	背番	結果
9	1	period			前半		
10	2	最上農業	13	得点	0202		
11	3	+c1 +k1	5	7m失敗	0250	14	警告
12	4	period	14	得点	0344		
13	5	済南学院	5	得点	0437		
14	6	済南学院	13	警告	0530		

○最初は、period を選択し、時間欄に「前半」と入力。スペースを挟んでください。

①プルダウンで、チームを選択します。「c1」がAチーム、「k1」がBチームです。選択後にチーム名が表記されます。

②背番号を入力

③結果をプルダウンで選択する。

④時間を4桁で入力する。

⑤相手チームの情報もあれば

続けて背番号、結果を入力する。

☆右側にランニングスコアが表記されるので確認してください。

7	列	チーム	背番	結果	時	背番	結果
9	1	period			前半		
10	2	最上農業	13	得点	0202		
11	3	済南学院	5	7m失敗	0250	14	警告
12	4	最上農業	14	得点	0344		
13	5	済南学院	5	得点	0437		
14	6	済南学院	13	警告	0530		
15	7	最上農業	3	7m得点	0600		
16	8	済南学院	1	得点	0653		
17	9	最上農業	15	得点	0827		

(2) 前半、後半、延長・・・7mTCの終了時には、必ず現在の得点をTDと確認して入力する。

→前半・後半ごとの得点が表記される。

(3) 連続クイックスタートによって、入力が追いつかない場合は、「緊急時得点のみ」入力セルを使用することもできます。入力の際は、Aチーム2番の得点⇒102、Bチーム10番の得点⇒210と入力

さらに続けて時間入力も可能です。入力例Aチーム2番の得点は10分30秒⇒1021030と入力

(4) タイムアウトがあれば、時刻を入力する。2回目のカードには、「前半・後半」を選択する。

また、警告のチーム累積回数が表記されるので、4回目の警告を入力しないようにする。

A	最上農業							28	対	27	済南学院							B
前半	後半	延長1	延長1	延長2	延長2	7mTC			前半	後半	延長1	延長1	延長2	延長2	7mTC			
8	20	2	0	1	2	4			8	11	0	2	1	2	3			
タイムアウト (直接入力)	1	2	前後	3	警告	2			タイムアウト (直接入力)	1	2	前後	3	警告	2			

2 公式記録用紙の印刷

(1) 試合前に、「namelist」シートを公式記録用紙①(主催者用)に印刷する。

→確認サインを受ける。

(2) 試合終了後、「input」シートをサイン入りの公式記録用紙①(主催者用)に追加印刷する。

→用紙セットがずれていないこと。

→審判員、TDに確認サインを受け、簡易スコアシート、使用パソコンと一緒に本部席へ届ける。

(3) scoresheet、runscoreは必要な場合に印刷する。

3 「namelist」チーム情報の集計と大会名等の入力

(1) チーム情報の集計

S2001(Excel)は、チームが作成する参加申込書です。この申し込み欄の下、A41～F41がチーム役員、A42～E57が選手リストとして抽出されています。それぞれ選択し、S2101(S2202)teamlistシートにコピーする。コピー先は、役員がB40以降のB列に、選手はK40以降のK列に順次コピーする。ただしコピーの際は「値」として貼り付けすること。

☆このとき、全チームの情報を貼り付けした後、チーム役員欄A列の番号を、組み合わせの抽選番号に変更してソート(並べ替え)をしておくことと便利です。(選手リストのソートは不要です。)

(2) 大会情報を入力する

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
1	年月日	2016年		会場名	キリンビバレッジ周南総合スポーツセンター								
2		8月		大会名	高松宮記念杯第67回全日本高等学校ハンドボール選手権大会								
3		2日		性別	男子								
4		月曜		回戦	1回戦 ①								
5	試合番号	A1		都道府県	山口県								
6				市町村	周南市								
7				オフィシャル席									
8	Aチーム	1	県立岩国商業高	審判員									
9		②	岩国商業	審判員									
10	Bチーム	2	県立下関中央工	TD1									
11			下関中央工業	TD2									
12					④								
13	スローオフ	Aチーム	岩国商業										
14	延長	③	3	第1延長→第2延長→7mTC									
15	岩国商業	選手番号	選手	主将	下関中央工業	背番号	選手	主将					
16		39	1長門一の宮	C		51	1す	0					
17		40	2長府			52	2せ	C					
18		41	3小月			53	3そ	0					
19		42	4増生			54	4た	0					
20		43	5厚狭			55	5ち	0					
21		44	6小野田			56	6こ	0					

- ①「回戦」は、プルダウンする。修正変更可能なので、キーボード F2 キーでカーソルを出して修正する。
- ②チーム番号は、対戦チームの組み合わせ抽選番号を入力すると下表に表示されますので、チーム初戦の場合は確認をしてください。
- ③延長設定をプルダウンで選択する。
- ④スコアシートの署名欄で、もともと「JHA」の氏名欄でしたが、消去しています。代りに表示させたい場合は、入力できます。
- ⑤種別・大会表示以外の場合は、この欄を使用します。

4 参加申込様式(S2001team)について（保護を解除してください。パスワードは設定していません）

(1) チーム名の設定

C5 セルには、チーム名をプルダウンで選択するようにしています。このリストは、K～M 列 39 行目以降を参照しています。K 列に番号、L 列にチームの正式名称、M 列にチーム略名称(全角 6 文字以内)を入力しておく。

・チームの住所や電話番号、校長名等を事前に設定しておくことで、自動入力ができます。(任意設定)

(2) 主将には、「c」を入力します。

5 申込様式から役員・選手データのコピー（保護を解除してください。パスワードは設定していません）

チーム名	選手番号	選手	主将	下関中央工業	背番号	選手	主将
1	39	1長門一の宮	C		51	1す	0
2	40	2長府			52	2せ	C
3	41	3小月			53	3そ	0
4	42	4増生			54	4た	0
5	43	5厚狭			55	5ち	0
6	44	6小野田			56	6こ	0

6 その他

(1) 簡易スコアシートによる、手書きによるランニングスコアの作成

→PC クラッシュや入力データの消失、連続クイックスタートによる入力遅延と忘失のために必ず手書きの控えを作成してください。

(2) P D Fによるスコア管理

→個々のファイルには全チームの個人情報が含まれています。スコアが確定した段階で PDF 処理をしてください。

その際には、最終的に 1 ページ目に scoresheet(公式記録用紙)、2 ページ目に runscore(ランニングスコア)になるようにしておかれることを推奨します。

(AdobeCS2 をお勧めします。ただし 32bitPC に限ります。64Bit は NG)

(3) 試合中によくあること

①得点の誤入力

→得点は「2 回笛が鳴る！ 3 回目の笛のタイミングが時間入力になる」※ラインクロスであれば笛は 1 回

②逆のチームに得点を入力

→操作するオペレーターの性格に合わせて、練習を重ねてください。

→T Dに確認をする。T Dからオペレーターに声をかけることも重要です。

③選手背番号の見落とし、忘失、誤入力

→T Dとよく連携して、オフィシャル席の役員全員と情報共有できるように努めること。

④連続クイックスタート

→『得点管理が最優先』何が何でも。入力遅延と忘失が最大の課題です。

→時間入力は、前後半終了後でも構いません。

→そのシュートが得点なのかをレフェリーの笛とジェスチャーで判断する。